



## 大阪部会(第 62 回)

日 時: 2019 年 2 月 2 日(土) 18:00~20:05

場 所: 同志社大学大阪サテライトキャンパス

### 【内容要旨】

第 62 回の大阪部会の出席者は 12 名。

(1)まず篠原総一代表(京都学園大学)から、最近の経済教育ネットワークの動向報告があった。1月5日(土)に沖縄で、1月26日(土)に札幌で開催された「先生のための経済教室」の概要が説明され、1月の東京部会での議論が紹介された。

(2)奥田修一郎氏(大阪教育大学等)からは、沖縄、札幌で報告された「未来を拓くアリとキリギリスの社会科授業」が紹介された。「先生のための経済教室」に出席いただいた先生方に生徒役をしてもらうワークショップ形式で行われ、前半は働くことの意味や社会保障について、議論しながらワークシートを埋めていくことで、考えを深め表現の機会を与える授業であった。後半は、男女間の賃金格差に焦点をあてたワークショップである。なぜ男女格差があるのかを自由に考えたのち、いくつかの資料を与え、グループごとに資料から読み取れることをまとめ発表し、クラス内で情報を共有してから、あらためて男女間賃金格差の原因と解消策を議論する構成となっている。中学生には難しい資料もあるが、グループワークによって資料を読み取り、賃金格差にも様々な側面があることを理解させる授業である。

(3)山本雅康氏(奈良学園中学高校)からは、中学3年生の卒業論文が紹介された。山本氏の所属する奈良学園では、中3のとき、生徒が自由に選んだテーマで卒論を書くことになっている。紹介された卒論では、学園祭での各学年の発表について、生徒および先生に評価アンケートをとり、何年生の発表が最も良かったかを順位付けし、その結果に対する考察と分析が卒論にまとめられている。その際、授業でボルダールを学んだ経験を活かして、多数決で順位付けした場合と、5点満点で各学年の発表を採点しその合計点によって順位付けした場合との違いなども分析している。生徒は、現実社会での決め方が多様であること、決め方によって結論が変わること、決め方を決めることも大切である点に気づくことができたようである。

(4)大塚雅之氏(三国丘高校)からは「新しい人権」を論理的・多面的に考えさせる授業について」と題する報告があった。ツールミンが開発した論理モデルを用いて、生徒の論理的思考を可視化して身に付けさせ、その達成度を評価できるようにした授業実践である。まず授業導入では単純な事例で事実から主張に至る論拠を述べさせ、徐々に難しい事例について考察し議論しながら、事実認識や論拠が異なれば主張も異なることを体感できるように構成されている。授業計画の後半では、環境権、知る権利のような近年現れた権利、今後予想される新しい権利を題材にして、論理的思考を発揮できるようにすることが目指されている。



(5)丹松美代志氏（大阪教育大学等）からは、『社会科ナビ』（日本文教出版）に執筆した記事「社会科の本質に根ざした3年間の見通しを持つ」が紹介された。大阪市立咲くやこの花中学の川村教諭の実践を取り上げたものであり、3年生「公民」最後の「よりよい社会を目指して」をにらんで、1年生の時から探求活動を行わせることが提案されている。川村教諭は、1年生で「お国調べ」、2年生で「観光大使になって都道府県の魅力を伝えよう」と題した課題設定・調査・分析・発表・レポート執筆を行わせ、3年生の卒業レポートにつなげることを実践した。丹松氏からは、この事例のように3年間の見通しをもった取り組みが有効であり、それが高校新教科「公共」につながると述べられている。

(6)米田謙三氏（関西学院千里国際中・高等部）から、「オリンピック・パラリンピックをテーマにしたアクティブラーニング型授業」が紹介された。SGH（スーパーグローバルハイスクール）プログラムの一環として、オリンピックとパラリンピックを題材に、グループワーク、ICTの活用、外部機関との提携、フィールドスタディなどが組み合わされた、非常に包括的で実践的な授業である。その他に、経済関係のデータベースにアクセスし、英文資料を読ませ社会科授業に使っている例も紹介された。

(7)最後に篠原代表から、全国の先進的な授業を行っている教員の実践や、経済ネットワークを通して蓄積された授業例・教材例を、若手教員やこれまでそうした教材に接したことのない教員にもっと伝える方策を考えたいという提案があった。多くの出席者から同意があったのは、教科書に付く「指導書」に教材・資料・授業例を入れることが最も有効であるという点である。だが、時間や費用に制約の厳しい教科書会社にそれを求めるのは難しく、ボランティアに頼るには教員は忙しすぎる。そのような現状で経済教育ネットワークに何ができるか、検討を続けることになった。

（文責 野間敏克）

次回開催予定：2019年4月27日（土）、時間は18:00～20:00、

場所は同志社大学 大阪サテライト（予定）。